

【報道関係各位】

三谷産業株式会社

2020年8月31日

社員の子どもを対象に「科学実験教室」を開催 ～2日間で19名が参加し、4種の実験を通して科学の面白さを発見～

三谷産業株式会社（本社：石川県金沢市／代表取締役社長：三谷 忠照、以下 三谷産業）は、8月7日（金）と8月21日（金）の2日間、当社グループ社員の小学校2～6年生の子どもを対象に、さまざまな実験を通して科学の面白さに触れられる「科学実験教室」をオンラインで開催し、計19名の子どもたちが参加しました。

三谷産業では昨年、小学校の夏休み期間中に社員の子ども（小学校4～6年生）を対象として科学実験教室を初めて開催しました。今年は新型コロナウイルス感染症対策としてオンラインでの開催に変更し、子どもたちに知的好奇心を育んでもらうことを目的とし、体験型の科学学習の場を提供しました。

教室では社員が講師となって実験方法をライブで配信し、子どもたちは事前に自宅に届いた実験キットを用いて次の4種の実験を行いました。

- つまようじスター …半分に折り放射状に並べたつまようじに水を垂らし星型を作る実験
- ペーパークロマトグラフィー …水性ペンで描いた模様を水につけインクの色を分離する実験
- 逆さまにできる水 …水を入れたコップを画用紙でおさえ逆さまにしても水がこぼれない実験
- 浮かび上がる絵 …マーカーで絵を描いたトレイに水を流し絵を浮かび上がらせる実験



オンラインで実験の説明を行う講師社員



「逆さまにできる水」の実験に成功！

教室に参加した子どもたちからは、「とても楽しかったのでまた参加したい」「教室が終わってから自分で実験に挑戦しました」などの声が寄せられました。

また講師として実験方法のライブ配信を行った人事部の藤野日菜子社員は、「今回は講師の行う実験を見るだけではなく、子どもたちが体験できる形式で参加していただきました。実験に成功した子どもたちの楽しそうな表情が印象的でした。この教室が科学に興味を持つきっかけになっていただけたら嬉しいです」とコメントしました。

また、科学実験教室の前にはオンライン職場見学会を開催しました。社員のレポートの下、オンラインで金沢本社と東京本社の社内を紹介しました。子どもたちは保護者の同僚・上司から仕事内容を聞き、当社社長・三谷忠照による会社説明に真剣に耳を傾けていました。子どもたちから「社長の宝

物はなんですか？」と質問が寄せられ、三谷からは「会社や社員が僕の宝物です」と答えるなど、和やかに会話が交わされました。

三谷産業は、社会の一員として良識を持ち、責任ある活動を行い、社会の発展や豊かさに貢献することを、企業の使命であると考えています。今後も、今回の科学教室をはじめ次代を担う子どもたちの健やかな成長に寄与する機会を創出するとともに、さまざまな形で社会に貢献できるよう努めてまいります。

< 本件に関するお問い合わせ先 >

三谷産業株式会社 広報事務局（共同ピーアール）

TEL： 03-3571-5258